



2019 年度 弥生時代講座

# 聞いてなっとく 弥生の世界

遺跡・遺物からみた弥生時代研究

## 8月3日(土) 「卑弥呼の遣使と青銅鏡」

實盛 良彦 (四條畷市教育委員会生涯学習推進課 主任)

弥生時代から古墳時代へ移りかわろうとする時代、邪馬台国の女王卑弥呼は中国大陸と通交し、多くの銅鏡を手に入れました。その具体的内容に種々の資料から迫ります。

## 10月19日(土) 「樹木と暮らす『弥生人』」

樋上 昇 ((公財)愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター 主任専門員)

欧米の「石の文化」に対し、我が国は「木の文化」と言われます。その出発点は後期旧石器時代ですが、この列島に自生する多種多様な木材を「適材適所」に用いたのは弥生人が最初です。日常生活のありとあらゆるものにおよぶ弥生時代の木製品の世界を皆さまとのぞいてみたいと思います。

## 12月7日(土) 「変わる土器の形」

中川 二美 (東大寺境内史跡整備計画室 研究員)

弥生土器には用途に応じたいろいろな種類があります。それぞれの器種で違う形の変化の仕方から、地域をまたいだ当時の人々の移動・移住などを考えてみたいと思います。

2020年

## 2月15日(土) 「弥生時代の打製石器生産」

朝井 琢也 (川西市教育委員会事務局社会教育課 事務員)

弥生時代は金属器が登場する時代ですが、依然として利器の主体は石器でした。今回はサヌカイト製打製石器の生産を中心に、弥生社会のモノづくりについて考えてみます。

※全4回受講された方には「講座修了証」と「記念品」をさしあげます。

場 所：弥生文化博物館1階ホール

時 間：いずれも 14:00 ~ 16:00  
(13:30 から受付)

定 員：170名  
(当日先着順 開館時より整理券配付)

対 象：大学学部生・一般市民向け

受講料：無料 (ただし入館料が必要)

卑弥呼と出会う博物館

大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture

(指定管理：公益財団法人 大阪府文化財センター)

大阪府和泉市池上町 4-8-27 TEL.0725-46-2162  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

### ACCESS



JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約 600m  
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約 1,500m

【大阪方面からお越しの場合】  
JR 天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(はとり)駅で普通電車にお乗換えください。平日は午前10時台、週末は午前11時台から午後3時台は鳳駅まで快速、鳳駅以降各駅にとまる「区間快速」もございます。  
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。  
鳳から3駅目が信太山(しのたけ)駅です。



国道 26 号「池上町」交差点南西角  
P 普通車 72 台 (無料)



考古学最前線に立つ講師陣がじっくり解説いたします。